

12. ロボットという言葉

文法：～というN、～というと…、～といったN、～というのは～ことだ、～という（ことだ）

- 会話 -

A：私は、ロボットの歴史について調べました。ロボットという機械を想像する

人が多いと思いますが、「ロボット」という言葉が最初に使われたのは、旧チェコスロバキアの劇作家であるカレル・チャペックによって書かれた作品の中ででした。

チェコ語で「働く人」という意味だそうです。

B：「ロボットの三原則」というのを聞いたことがあります。

A：その「ロボットの三原則」というのは、アメリカ人のアイザック・アシモフが書いたSF小説「私はロボット」の中で書いたロボットであるためのルールのことです。1つ目は人間にとって安全であること。2つ目は人間の命令を聞くこと。そして3つ目は、1つ目と2つ目を守りながら自分の命を守ることです。

B：最近のロボットも、この三原則が守られているのでしょうか。

A：難しいですね。守られているといますが、新しい技術が進歩してきているので、これからどうなるかはわからないと思います。



- 文法 -

~というN

物の名前やブランド名などを付け加えるときに使います。

(名前) という (人や物)

- ①先週「ひまわり」という食べ放題のお店に行ってきました。
- ②「フェレット」という動物を知っていますか。
- ③「村上春樹」という有名な日本人の作家を知っていますか。

「話」「うわさ」「意見」「ニュース」「考え」「命令」などの話すことや考えることについての名詞の内容を言うときに使います。「仕事」「経験」「事件」「性格」

「特徴」などの場合、「という」があってもなくてもいいですが、長い内容の場合は「という」を使うことが多いです。「味」「におい」「写真」などの知覚や感覚につ

いての名詞の内容を言うときは、「という」が使いません。

【普通形】V + いう N

- ①さっき日本でまた地震があったというニュースを見ました。
- ②日本にはまだ忍者がいるという情報は、^{うそ}嘘です。
- ③あの歯みがき粉にはよくない成分が含まれているという話を聞いたことがあります。
- ④山本さんは、交差点内で三台の自動車がぶつかる（という）事故に巻き込まれたようだ。

～というところ 一般的に～からよく想像するものを言うときに使います。

～というところ／といえば／といったら…

- ① 外国人に人気がある日本の都市といったら、やはり京都でしょう。
- ② 日本で台風が多い地域といえば、まず沖縄が思いつきます。
- ③ 日本料理に欠かせない調味料というところ、やはり醤油しょうゆではないでしょうか。

～といったN Nの例を付け加えるときに使います。

～、～、～…といったN

- ① 日本には、着物や風鈴ふうりん、畳たたみといった日本にしかない文化があります。
- ② 日本語や中国語といった漢字がある言語は、私にとって難しいです。
- ③ みかんの皮や種といった生ごみは、燃えるゴミでも燃えないゴミでもありません。

～というのは…ことだ 聞き手が知らないことについて説明するときに使います。

Nというのは、【普通形】ということだ／N(のこと)だ

- ① 禁煙というのは、たばこを吸ってはいけないということだ。
- ② 正三角形というのは、三辺の長さが同じ三角形のことである。
- ③ くよくよするというのは、いつまでも悩んだり、小さなことを気にしたりすることだ。

～という（ことだ） 聞いた情報を他の人に伝えるときに使います。「～という。」は硬い表現で、書くときやナレーションなどによく使われます。「～ということですね」は相手が今言ったことを繰り返して確認するときに使います。また、「～そうだ」に似ていますが、「～という（ことだ）」は「～と聞きました」と同じで、聞いたことをそのまま引用することができます。

【普通形】 +という（ことだ）／とのことだ

- ①この辺りは昔、様々な生き物が住む海だったという。
- ②聞いた話によれば、あの遊園地は経営が難しくてなくなったということです。
- ③近くにいた人の話によると、パトカーや救急車が何台も来ていたとのことです。
- ④すみませんが、雪で電車が遅れているので少し遅くなります。－わかりました。遅れるということですね。

★比べよう【～という（ことだ） vs ～そうだ】

違い	～という（ことだ）	～そうだ
ニュアンス	直接的で、そのまま引用ができる	間接的で、聞いた情報だけに使える
意向形や命令形	ある分だけみんなで分けましょうということです。 今日中に参加費を振り込めとのこと	×

- 練習問題に挑戦！ -

問題1. 【「～というN」(名前)を使った文に変えなさい。】

例：お菓子が好きです。名前は「ポッキー」です。 → ポッキーというお菓子が好きです。

- ①おばは、ねこを飼っています。名前は「クロ」です。
- ②本を知っていますか。名前は『みんなの日本語』です。
- ③今朝、駅で飲み物を買いました。名前は「ポカリスエット」です。
- ④アイスクリームが好きで、よく食べます。名前は「サーティーワン」です。
- ⑤ _____。

問題2. 【「～というN」(内容)を使って、文に完成させなさい。】

- ① _____ というニュースを見ました。
- ② _____ という話を初めて聞きました。
- ③ _____ といううわさを耳にしたことがあります。
- ④今日は、 _____ という話題について話しましょう。
- ⑤ _____ という仕事をしています。
- ⑥ _____。

問題3.【「～という／といえば／といったら…」を使って、文を完成させなさい。】

- ①日本の食べ物といったら、_____と思います。
- ②世界で最も暑い国といえば、_____ではないでしょうか。
- ③眠くなるといったら、_____でしょう。
- ④冬のスポーツといったら、_____よね。
- ⑤子どもを連れて遊びに行くところといえば、_____しか思いつきません。
- ⑥_____。

問題4.【「～といったN」を使って、文を完成させなさい。】

- ①母は、_____といった花が好きです。
- ②吉田さんには_____といった明るい色の服が似合います。
- ③_____といった辛い食べ物は食べられません。
- ④_____といった家庭のことは、みんなですべきだと思う。
- ⑤一人暮らしするなら、_____といった費用は自分で払わないといけない。
- ⑥_____。

問題5. 【「～というのは…ことだ」を使って、文を完成させなさい。】

例：学生割引＝学生は安くなります → 学生割引というのは、学生は安くなるということです。

- ① 駐車禁止＝ここに車を停めてはいけません
- ② 徹夜^{てつや}＝勉強や仕事などで朝まで寝ません
- ③ 断る＝相手の希望などに「いいえ」と言います
- ④ 疑う＝相手のことを信じずに、本当かどうか考えてみます
- ⑤ にやにやする＝隠された意味があるように、一人で声を出さずに笑います
- ⑥ _____。

問題6. 【「～という（ことだ）」「～とのことだ」を使った文に変えなさい。】

例：ニュース「大きな地震がありました。」 → ニュースによると、大きな地震があったということです。

- ① 昔、世界は大きな一つの大陸でした。
- ③ ニュース「今年の水不足は心配ありません。」
- ② 山田さんから「道が混んでいて遅れる」とメールが来ました。
- ③ 国語の先生「57 ページの 13 行目から読んでおいてください。」
- ④ 部長「領収書が必要です。」
- ⑤ _____。